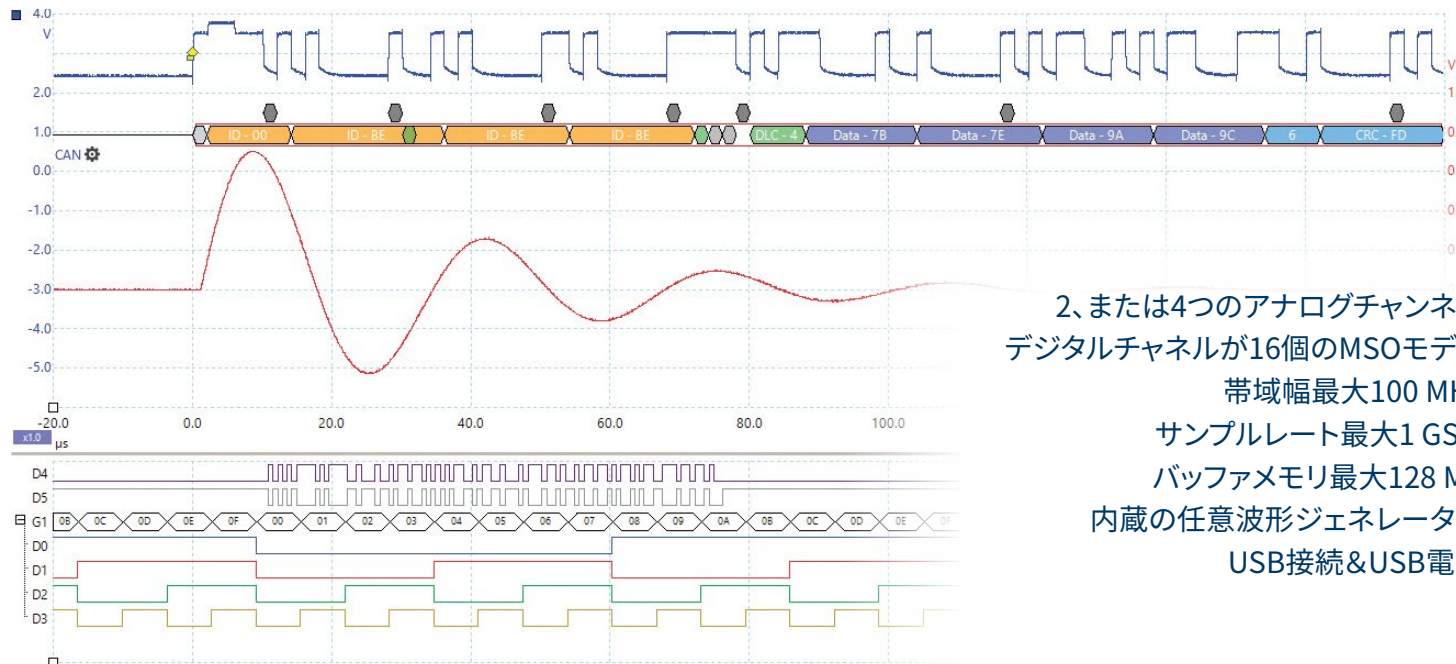


PicoScope[®] 2000シリーズ

超軽量PCオシロスコープ

ベンチトップオシロスコープに代わるコンパクトスコープ



2、または4つのアナログチャンネル
デジタルチャンネルが16個のMSOモデル
帯域幅最大100 MHz
サンプルレート最大1 GS/s
バッファメモリ最大128 MS
内蔵の任意波形ジェネレーター
USB接続&USB電源



PicoScope 2000シリーズの紹介

PicoScope 2000シリーズには、2チャンネルまたは4チャンネルのオシロスコープ、アナログ入力2個およびデジタル入力16個の混合信号オシロスコープ (MSO) があります。すべてのモデルにスペクトラムアナライザー、ファンクションジェネレーター、任意波形ジェネレーター、シリアルバスアナライザーを搭載しており、MSOモデルはロジックアナライザーも装備しています。

PicoScope 2000Aモデルは、アナログおよびデジタルエレクトロニクス、埋め込みシステムなどの様々な用途において優れた波形の視覚化、および25 MHzの測定を行うことができ、その費用に対する価値は他を寄せ付けません。教育、趣味、現場作業などの様々な用途に最適にご利用いただけます。

PicoScope 2000Bモデルは、ディープメモリ(最大128 MS)、高い帯域幅(最大100 MHz)、高速の波形更新レートなどのさらに優れた機能を装備しており、シリアルデコードや周波数の時系列グラフ化など、高度な波形分析を実行する上で必要となる性能を提供することができます。



2チャンネルオシロスコープ: 2204Aおよび2205A



4チャンネルオシロスコープ



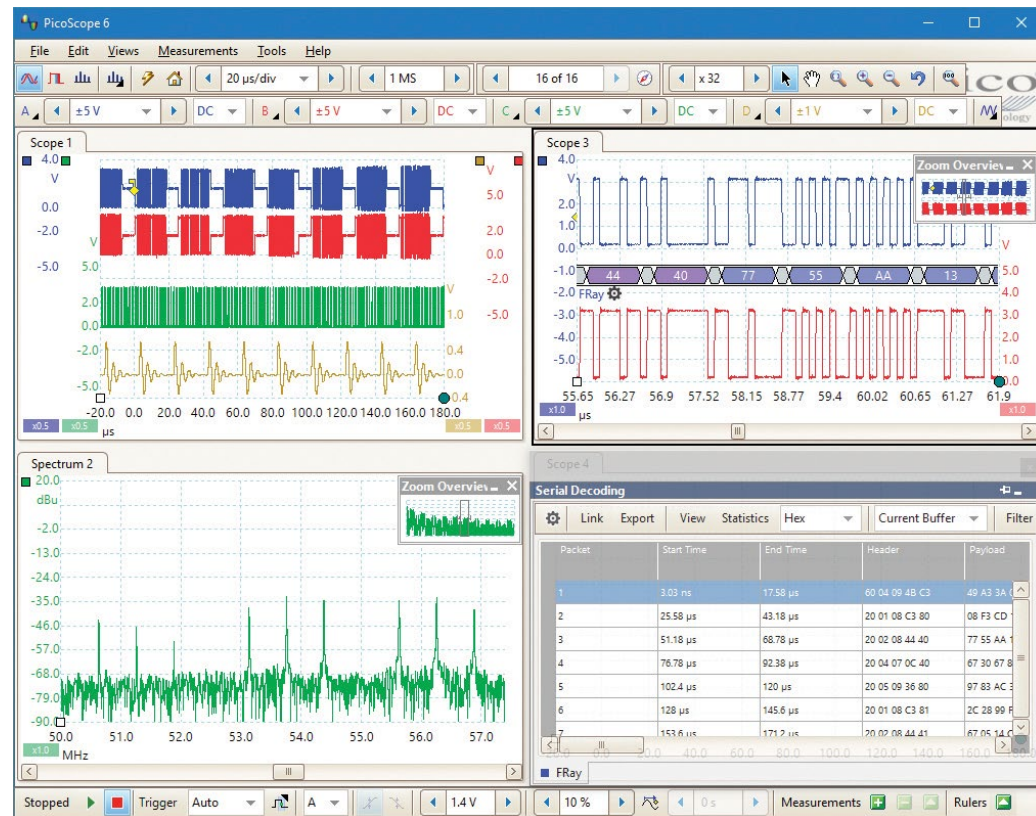
2チャンネルオシロスコープ: 2206B、2207B、2208B



2+16チャンネル混合信号オシロスコープ (MSO)

高度なオシロスコープディスプレイ

PicoScope 6ソフトウェアは、PCのディスプレイサイズ、解像度、処理能力を活用し、4つのアナログ信号、2つの信号の拡大ビュー(シリアルデコード実行中)、および3番目のスペクトルビューをすべて同時に表示することができます。従来のベンチトップオシロスコープとは異なり、お使いのコンピューターのモニターのサイズがディスプレイのサイズとなります。ソフトウェアも、タッチスクリーンのデバイスで使いやすい設計となっており、ピンチして拡大、ドラッグしてスクロールなどの機能をお使いいただけます。



超コンパクトでポータブルなのにパワフル

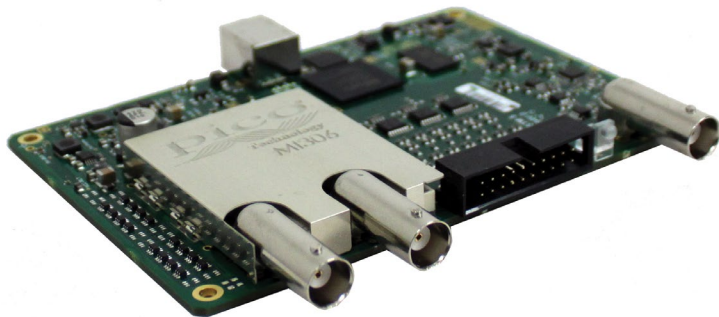
PicoScope 2000シリーズオシロスコープはとてもコンパクトなので、プローブやリード線などと一緒にラップトップケースに入れることができます。かさばるベンチトップデバイスに代わるこれら最新スコープは、設計、試験、教育、サービス、監視、故障発見・修正など、幅広い範囲の用途に最適で、移動の多いエンジニアにぴったりです。



高い信号品位

Pico Technologyは、当社が提供する製品の優れた性能に自信を持っています。注意深いフロントエンド設計とシールドリングにより、ノイズ、クロストーク、高調波ひずみなどを減少させることができます。オシロスコープ設計に携わってきた何十年もの経験は、パルス応答や帯域幅フラットネスの改善などに反映されています。

結果は明らかです。回路のプローブを行う際には、画面上の波形を信頼していただくことができます。



高速サンプリング

PicoScope 2000シリーズオシロスコープは、アナログチャンネルで最大1 GS/sの高速リアルタイムサンプルレートを実現しています。タイミング解像度は、1 nsです。

反復アナログ信号では、等価時間サンプリング(ETS)モードで最大有効サンプルレートを最大10 GS/sに引き上げることができ、100 psという高解像度を実現することが可能です。どのスコープでも、メモリ長を最大限に活用したプリトリガー、ポストトリガーキャプチャをサポートしています。

標準装備の高機能

他社のオシロスコープを購入される場合とは異なり、PicoScopeには高度な機能が搭載されているため、価格に対する価値は非常に高いものとなります。PicoScopeには必要なものがすべて含まれているため、高額な料金を支払ってハードウェアを追加する必要はありません。解像度向上、マスクリミット試験、シリアルデコード、高度なトリガー、自動測定、演算チャンネル(周波数およびデューティサイクルを時間に対してプロットする機能を含む)、XYモード、セグメント化メモリなどの高度な機能がすべて含まれています。

USB接続



USB接続により、現場から素早く簡単にデータを印刷、コピー、メールで送信することができます。高速USBインターフェースにより、データの高速送信が可能になります。また、USB電源を使用することで、外部電源周辺に持ち運ぶ必要もなくなります。

柔軟性

PicoScopeソフトウェアは、使いやすいインターフェースで高度な機能を提供しています。標準のWindowsインストールに加え、PicoScopeベータ版ソフトウェアはLinuxやmacOSオペレーティングシステムでも稼働するため、お好みのプラットフォームを選んでPicoScopeを使用することができます。

製品サポートに対する強いコミットメント

当社は、PicoScopeのPCソフトウェアおよびオシロスコープファームウェアの無料更新を定期的に提供しております。製品をご使用になる限り、ずっとご利用いただけます。スコープの性能や機能性は改善されていきますが、ご購入の際にお支払いいただいた金額以外の料金は一切いただきません。

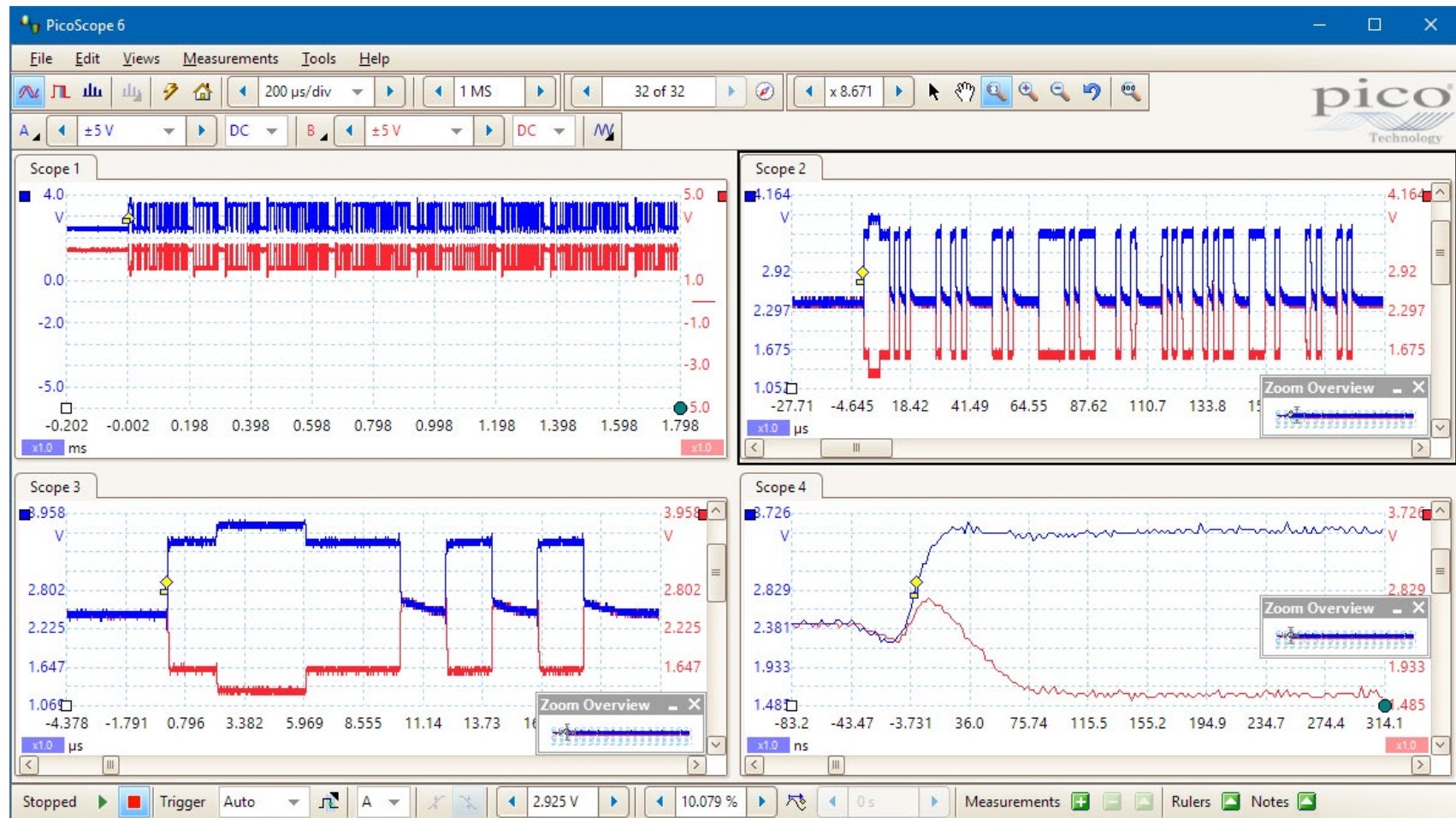
このような高いレベルのサポート、当社の技術チーム、販売サポートチームによるお客様サービスは、お客様から常に高い評価をいただいています。

ディープキャプチャメモリ

PicoScope 2000シリーズの「B」モデルは、波形キャプチャバッファが32~128メガサンプルの範囲ですが、これは他社製品の数値をはるかに上回っています。ディープメモリにより、最大サンプル速度で長時間の波形をキャプチャすることができます。実際、PicoScope 2000シリーズの中には、1 nsの解像度で100 msの波形をキャプチャするモデルもあります。対照的に、10メガサンプルメモリのオシロスコープで同じ100 msの波形をキャプチャすると、解像度はたったの10 nsです。

このディープメモリは他の場合にも便利です。PicoScope 6では、キャプチャメモリを幾つものセグメント（最大10,000）に分割することができます。各セグメントに別個のキャプチャを保存するよう、トリガー条件を設定することができます。キャプチャ間のロス時間は、たったの1 μ sです。データを取得したら、一度に1つのセグメントずつ確かめて、探しているイベントを探すことができます。

強力なツールが搭載されており、これらデータすべてを管理・解析することができます。マスキリミット試験や色持続モードなどの機能と同様に、PicoScope 6ソフトウェアでは何百万という倍率で波形を調べることができます。[ズーム概要]ウィンドウでは、ズーム領域のサイズや場所を簡単にコントロールすることができます。波形バッファ、シリアルでコード、ハードウェアアクセラレーションなどの他のツールをディープメモリと併用すると、PicoScope 2000シリーズは市販されている中で最も価値の高いオシロスコープとなります。



PicoScope 6ソフトウェア

PicoScopeソフトウェアのディスプレイは、基本にも詳細にも必要に応じて適合させることができます。チャンネル1つの単一ビューで始まり、最大4つのライブチャンネルを表示するようにディスプレイを拡張したり(モデルにより異なります)、演算チャンネルや基準波形を表示したりすることもできます。複数のスコープおよびスペクトルビューを自動レイアウトまたはカスタムレイアウトで表示し、よく使用するコントロールすべてにツールバーから素早くアクセスできるようにしつつ、波形表示のためにディスプレイを空けておくことができます。

[ツール]メニュー: カスタムプローブ、シリアルデコード、基準波形、マスク試験、アラーム、マクロの設定を行います。

タッチスクリーンコントロール: タッチスクリーンデバイスでは、便利なボタンを使って微調整を簡単に行うことができます。

バッファナビゲーションツールバー: PicoScopeは、最大10,000の波形を記録することができます。バッファをクリックして間欠的なイベントを探すことができます。または[バッファ概要]サムネイルを使うこともできます。

ズームおよびスクロールツールバー: ズームイン、ズームアウト、パンツールを使って、波形上で簡単にズームすることができます。

信号ジェネレーター: 標準信号、または任意波形を生成します。周波数掃引モードが含まれます。

自動設定ボタン: PicoScopeが適切なスケールのディスプレイに収集時間、および入力範囲を設定するようにします。

チャンネルオプション: 各チャンネルに応じて設定を調整します。

トリガーマーカー: マーカーをドラッグして、しきい値および事前設定のトリガー時間を調整します。

調整可能軸: 垂直軸をディスプレイの上下に動かして、スケールやオフセットを変更します。PicoScopeにより自動で軸の再調整を行うことも可能です。

トリガーツールバー: メインコントロールに素早くアクセスし、詳細トリガーがポップアップウィンドウに表示されます。

自動測定: 必要な数の演算時間領域および周波数領域測定を追加し、変動を表す統計パラメータを表示します。

スペクトルビュー: 周波数領域データを時間領域波形と共に、または専用のスペクトルモードで表示します。

ルーラー凡例: 絶対および差動ルーラー測定がここにリストされます。

ルーラー: 各軸には、画面上でドラッグして素早く測定できるルーラーが2本あります。

[ズーム概要]ウィンドウ: クリックしてドラッグすると、ズームしたビューを素早く調整したりナビゲートしたりできます。



混合デジタル・アナログ信号

PicoScope 2000 MSOモデルは、2つのアナログチャンネルに16のデジタルチャンネルを追加することができるため、アナログおよびデジタルチャンネルの正確な時間相関を得ることができます。デジタルチャンネルをグループ化し、バスとして表示することができます。各この際、各バス値は16進数、2進数(バイナリ)、10進数(小数)、またはレベル(DACテスト向け)で表示されます。アナログおよびデジタルチャンネルの両方に、詳細なトリガーを設定することができます。

デジタル入力によっても、シリアルデコードオプションはさらに強化されます。アナログおよびデジタルチャンネル上のシリアルデータを同時にデコードすることができるため、最大20チャンネルのデータを取得できます。例えば、複数のSPI、I²C、CANバス、LINバス、FlexRayなどの信号のデコードを同時に行うことができます。

オシロスコープのコントロール:ズーム、フィルター、ファンクションジェネレーターなど、PicoScopeのアナログメインコントロールすべて、MSOデジタル信号モードでも使用することができます。

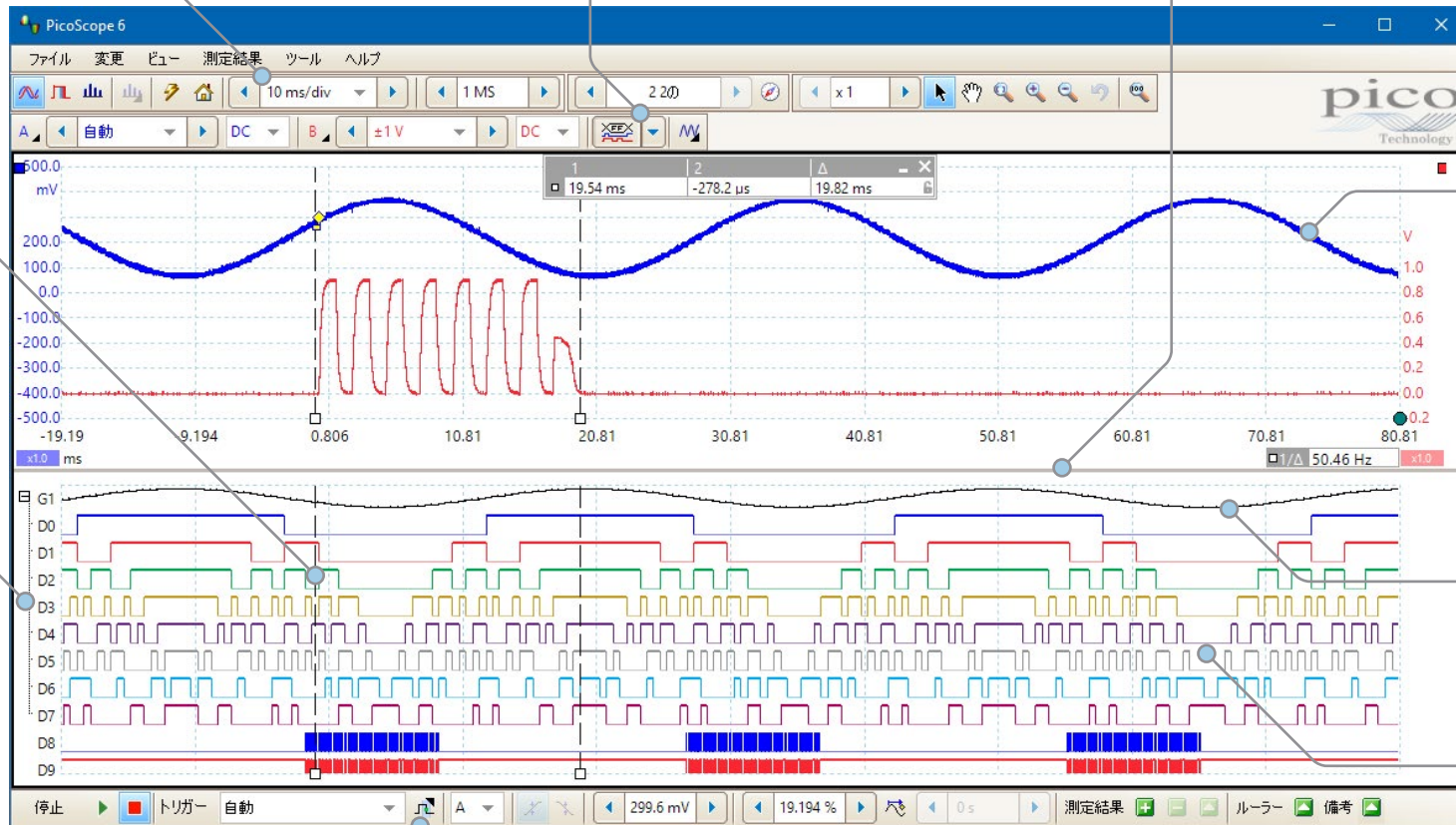
デジタルチャンネルボタン:デジタル入力を設定して表示します。アナログおよびデジタル信号を同じタイムベースで表示します。

ディスプレイのスプリット:PicoScopeでは、アナログ信号とデジタル信号を同時に表示することができます。ディスプレイのスプリットを調整することで、アナログ波形のスペースを広げたり狭くしたりすることができます。

ルーラー:アナログおよびデジタルペインの両方に表示されるため、信号のタイミングを比較することができます。

リネーム:デジタルチャンネルおよびグループは、名前を変更することができます。デジタルビューでグループを展開したり折りたたんだりすることができます。

高度なトリガー:デジタルチャンネルでは、デジタルトリガーおよびロジックトリガーオプションも使用することができます。



アナログ波形:アナログ波形を、デジタル入力との時間相関で表示します。

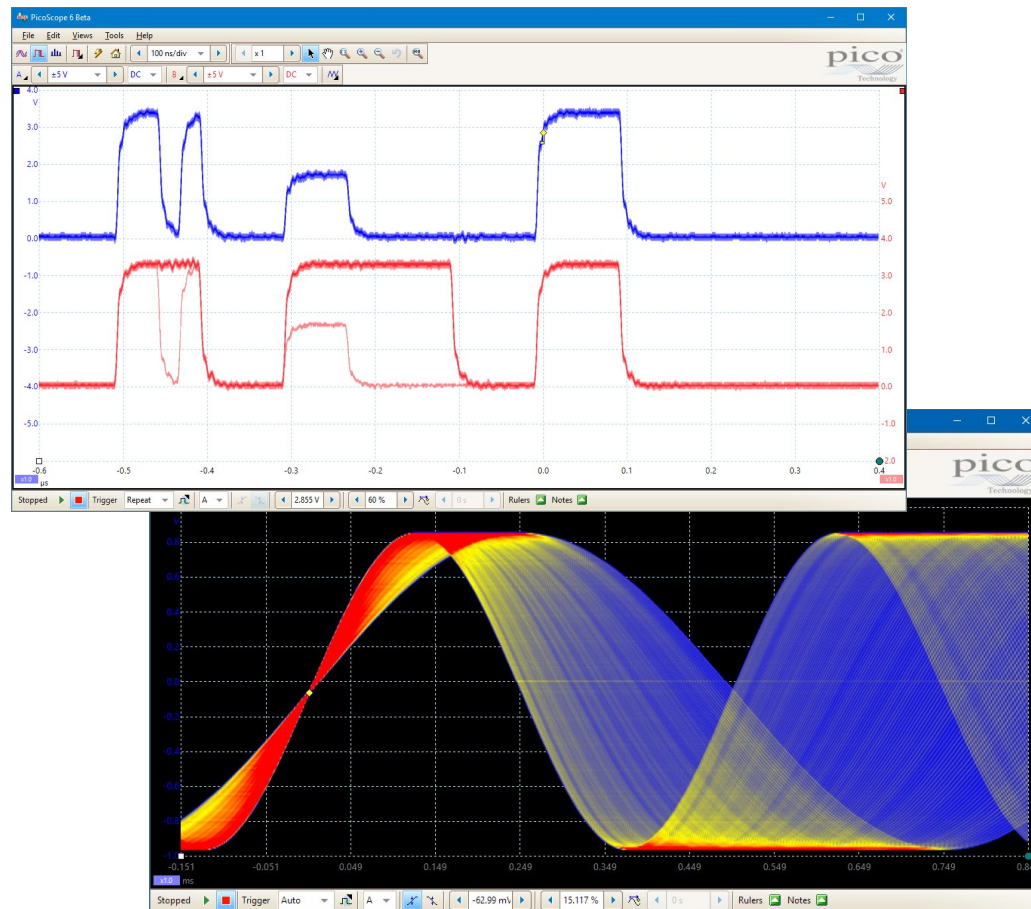
レベル別に表示:ビットをフィールドにグループ化し、アナログレベルとして表示します。

ディスプレイ形式:選択したビットを個々に表示するか、または数値かASCII形式でグループとして表示します。

持続モード

PicoScope 6の持続モードオプションを使うと、古いデータと新しいデータを重ねて表示することができます。新しい波形は、強い陰のついた明るい色になります。これにより、グリッチやドロップアウトを簡単に見つけて、その相対頻度を推測することができます。ビデオ波形やアナログ変調信号など、複雑なアナログ信号の表示、解釈に便利です。

PicoScope 2000シリーズのハードウェアアクセラレーションにより、高速持続モードで、1秒間に最大80,000という波形更新レートが実現します。色分け、または強度グレーディングにより、安定したエリアや間欠的なエリアを見分けることができます。アナログ強度、デジタルカラー、高速表示モードから選択するか、またはカスタム設定を作成してください。

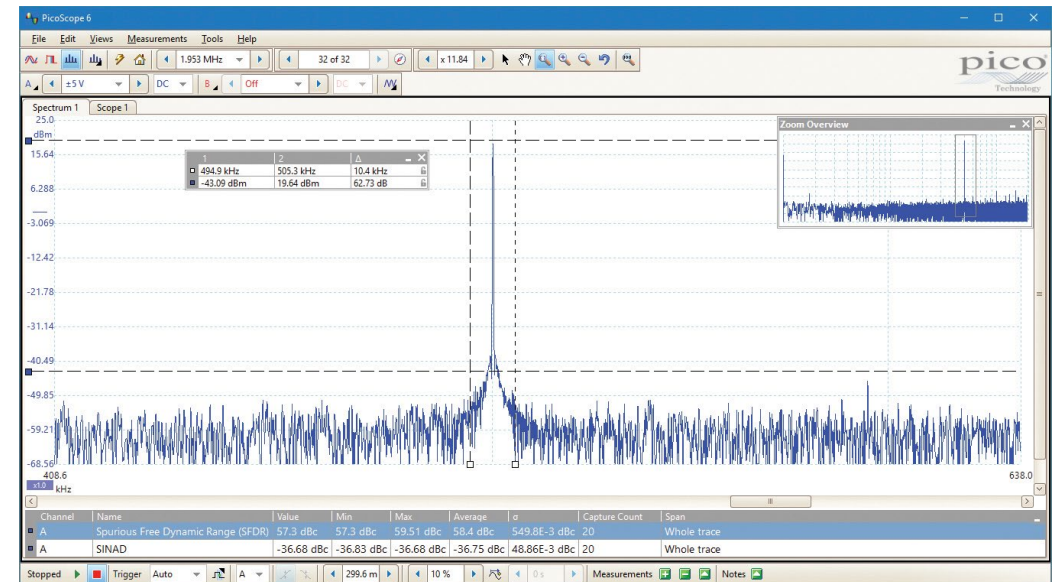


スペクトラムアナライザー

スペクトルビューでは、周波数に対する振幅をプロットします。信号のノイズ、クロストーク、ひずみなどを見つけるのに最適です。PicoScope 6は、単一の非反復波形のスペクトルを表示することができる、高速フーリエ変換 (FFT) スペクトラムアナライザーを使用します。

ボタンをクリックすると、アクティブなチャンネルのスペクトルプロットが表示されます。最大周波数は、200 MHzです。設定できる範囲が大きいので、スペクトルビン、ウィンドウ機能、スケールリング (log/logを含む)、およびディスプレイモード (即時、平均、ピークホールド) などを制御することができます。

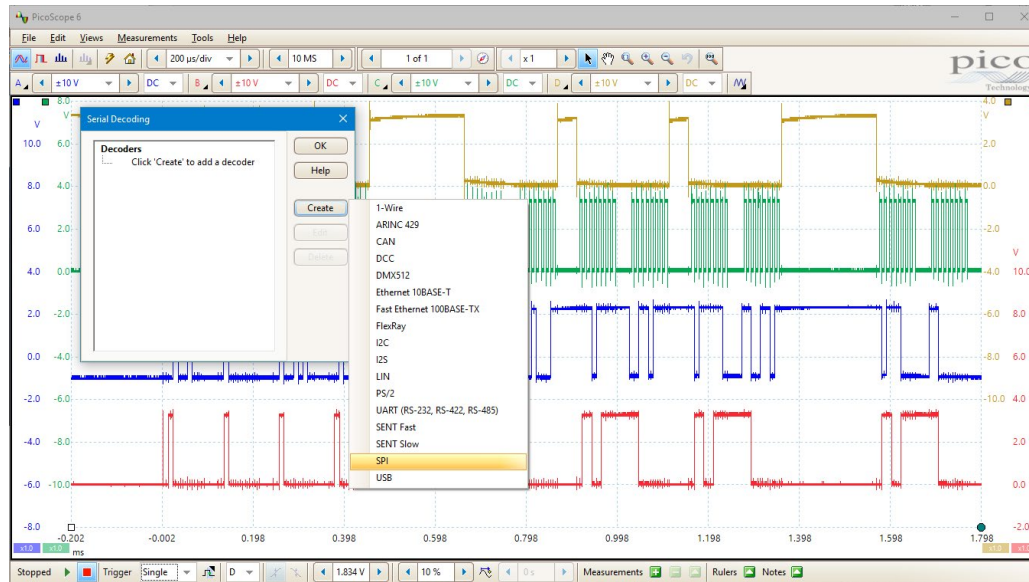
異なるチャンネルおよびズーム要素を含む複数のスペクトルビューを表示し、これらと同じデータの時間領域ビューと共に表示することができます。THD、THD+N、SNR、SINAD、IMD など、様々な自動周波数領域測定から選択して、ディスプレイに追加できます。スペクトルにマスキリット試験を適用したり、AWGとスペクトルモードを一緒に使って掃引スカラーネットワーク解析を実行することさえ可能です。



シリアルデコードおよび解析

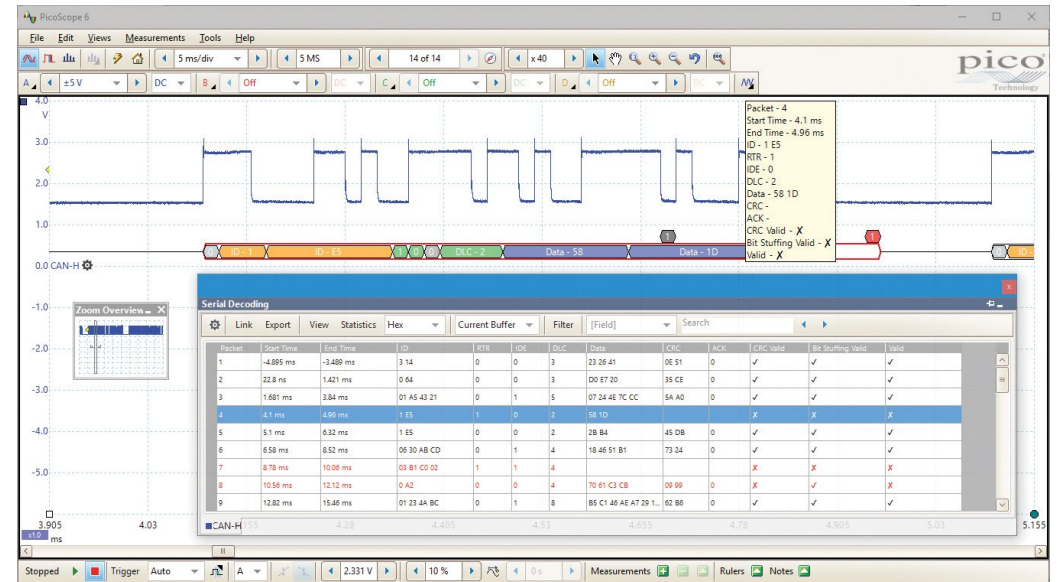
PicoScope 2000シリーズには、標準装備としてシリアルデコード機能がついています。PicoScope 6ソフトウェアは、I²C、SPI、CAN、RS-232、マンチェスター、DALIなど、20のプロトコルに対応しています。デコードにより、設計内で起こっていることを把握し、プログラミングおよびタイミングのエラーを特定して、他の信号品位に関する問題を確認することができます。タイミング解析ツールは、各デザイン要素の性能を示し、システム性能全体を最適化する上で改良する必要がある部分を特定します。

どの組み合わせでも、一度に複数のプロトコルをキャプチャしてデコードすることができます。制限となるのは、使用できるチャンネルの数のみです (MSOモデルで18)。アナログおよびデジタル入力上のシリアルデータを同時にデコードすることができます。ブリッジ上のデータフロー (CANバスイン、LINバスアウトなど) を観察する性能も非常に強力です。PicoScope 2000Bモデルのディープメモリ機能により、データの何千ものフレームを処理できるため、シリアルデコードには最適です。



グラフ形式では、一般の時間軸上の波形の下に、デコードしたデータ (16進法、2進法、10進法、ASCII) がタイミングダイアグラム形式で表示され、エラーのあるフレームは赤でマークされます。

これらフレームにズームして、ノイズやひずみを調べることができます。また、各パッケージフィールドには別々の色が割り当てられているため、データの読み出しも簡単に行えます。



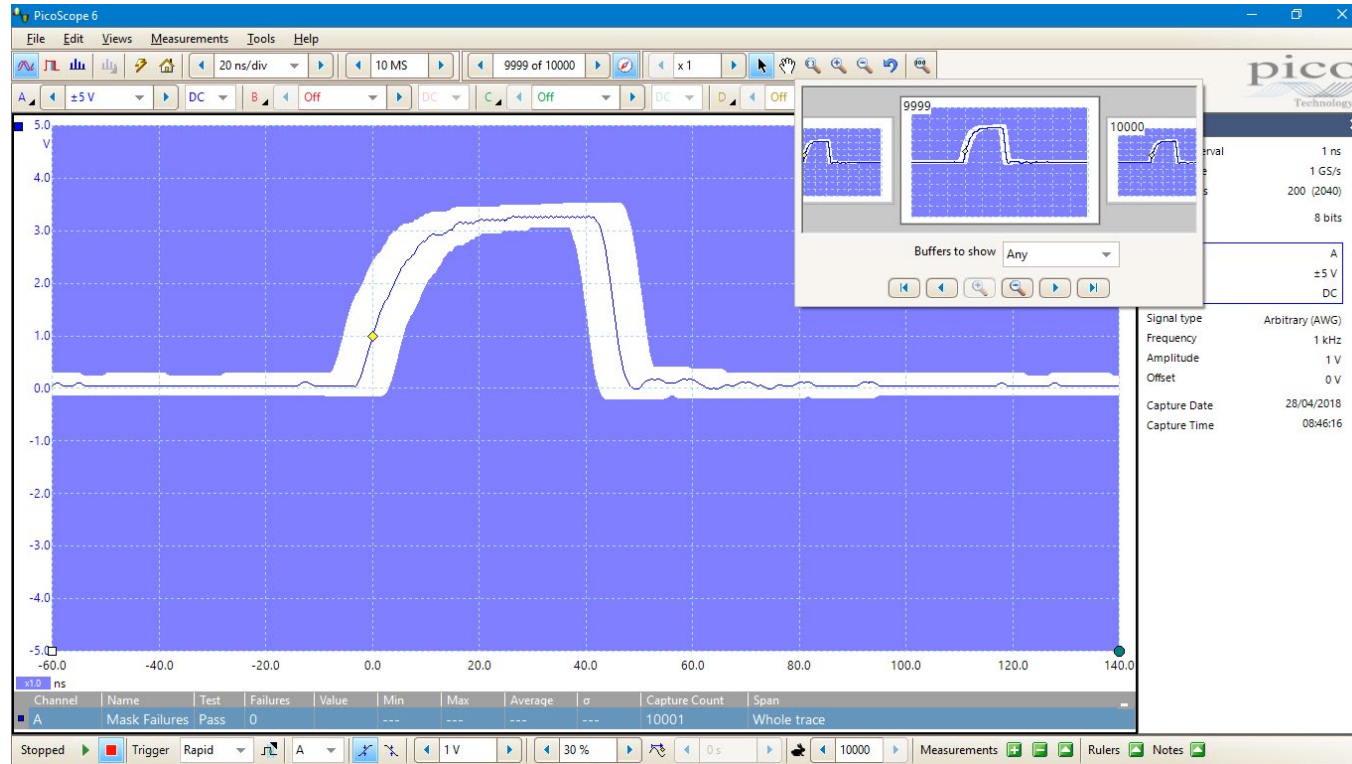
表形式の場合、データ、フラグや識別しずべを含む、デコードしたフレームのリストが表示されます。フィルター条件を設定して、関心のあるフレームのみを表示したり、特定の特性を持つフレームを探したりすることができます。

統計オプションは、フレーム時間や電圧レベルなどの物理レイヤーに関する詳細を示します。PicoScope 6では、スプレッドシートをインポートして、データをユーザー定義したテキスト文字列にデコードすることも可能です。

マスクリミット試験

マスクリミット試験により、ライブ信号と既知のグッド信号を比較することができ、製造およびデバッグ環境で使用するために設計されています。既知のグッド信号のみをキャプチャします。その周辺でマスクを生成してアラームを使用し、マスクから外れる波形すべて(タイムスタンプ付き)を自動で保存するようにします。PicoScope 6は、間欠的なグリッチすべてをキャプチャし、失敗カウントを[測定結果]ウィンドウに表示します(ウィンドウは他の測定結果にも使用することができます)。マスクの失敗のみを表示するように波形バッファナビゲーターを設定し、そのグリッチを素早く特定することができます。

マスクファイルの編集(数字またはグラフィック)、インポート、エクスポートも簡単に行えます。また、複数のチャンネルで、複数の観点のマスクリミット試験を同時に実行することもできます。

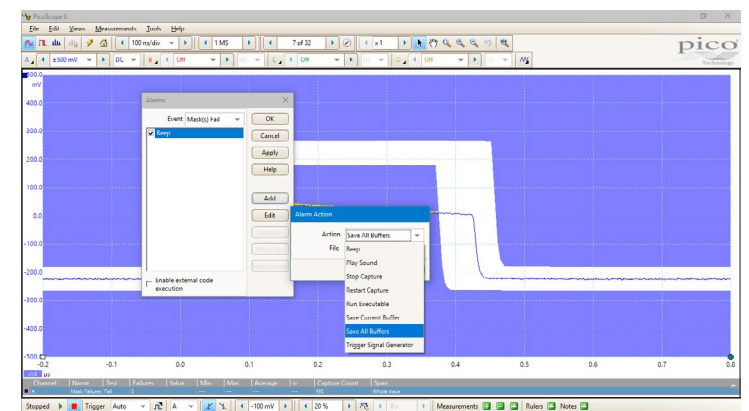


アラーム

特定のイベントが発生した場合に自動で操作を実行するように、PicoScope 6をプログラムすることができます。

アラームをトリガーできるイベントには、マスクリミット失敗、トリガーイベント、フルバッファなどがあります。

PicoScope 6が行う操作には、ファイルの保存、サウンドの再生、プログラムの実行、任意波形ジェネレーターのトリガーなどがあります。



波形バッファおよびナビゲーター

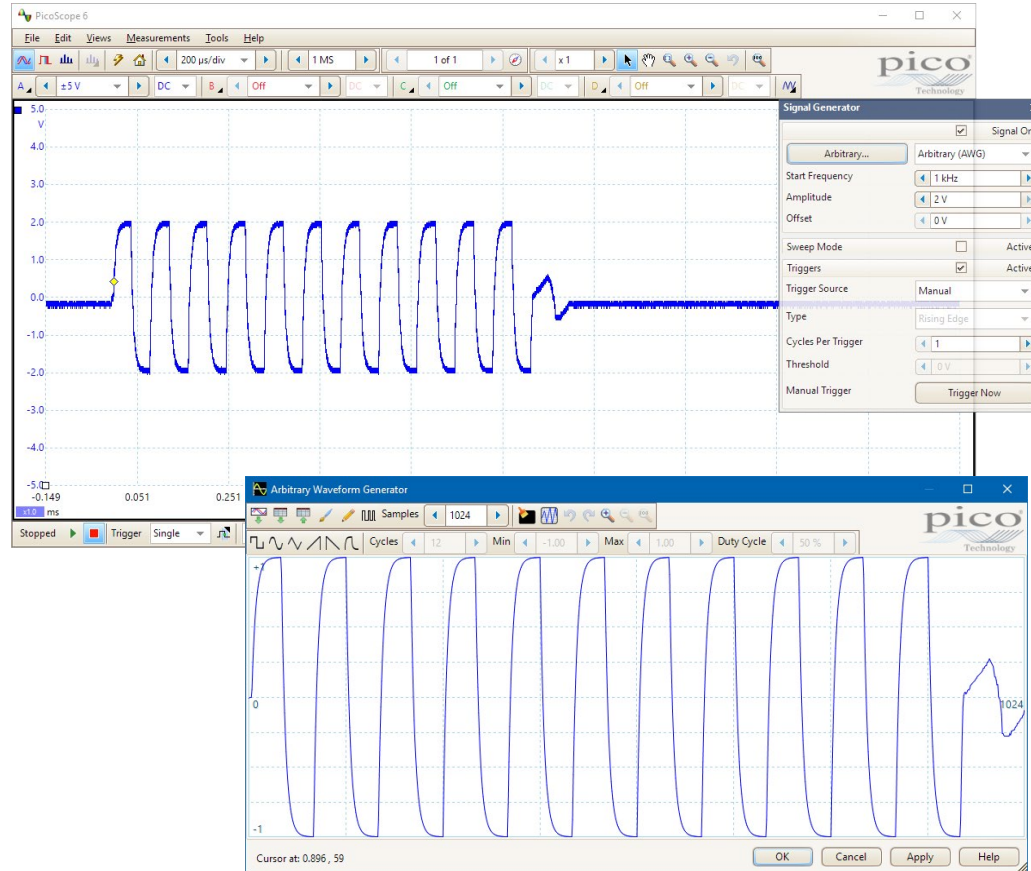
波形にグリッチを見つけても、スコープを止める時にはもうなくなっている、ということがありませんか? PicoScopeを使えば、環状波形バッファ内に最後の10,000波形を保存できるため、グリッチや他の一時的なイベントを見逃す心配はなくなります。

バッファナビゲーターにより、波形を効率的にナビゲートして検索することができるため、効果的に時間を遡ることができます。マスクリミット試験を実行する場合は、マスク失敗時のみナビゲーターを表示するように設定することで、素早くグリッチを見つけることができます。

任意波形および機能ジェネレーター

PicoScope 2000シリーズオシロスコープすべてには、内蔵のファンクションジェネレーター、任意波形ジェネレーター (AWG) が装備されています。ファンクションジェネレーターは、正弦波、矩形波、三角波、DCレベル波形など様々な波形を生成することができます。AWGでは、データファイルから波形をインポートしたり、内蔵のグラフAWGエディターを使って波形を作成・修正したりすることができます。

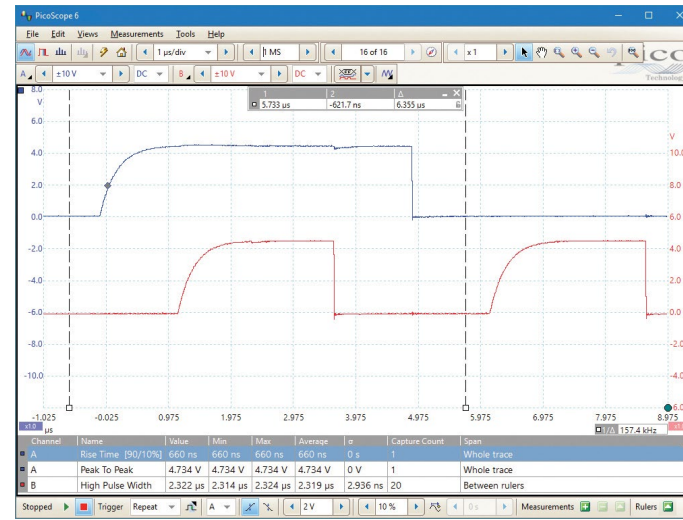
レベル、オフセット、周波数のコントロールに加え、さらに詳細オプションを使用することができるため、様々な周波数に対応させることができます。ピークホールド、平均、リニア/対数軸などのオプションを装備した高度なスペクトルモードと併用することで、アンプやフィルター応答の試験を行う強力なツールとなります。



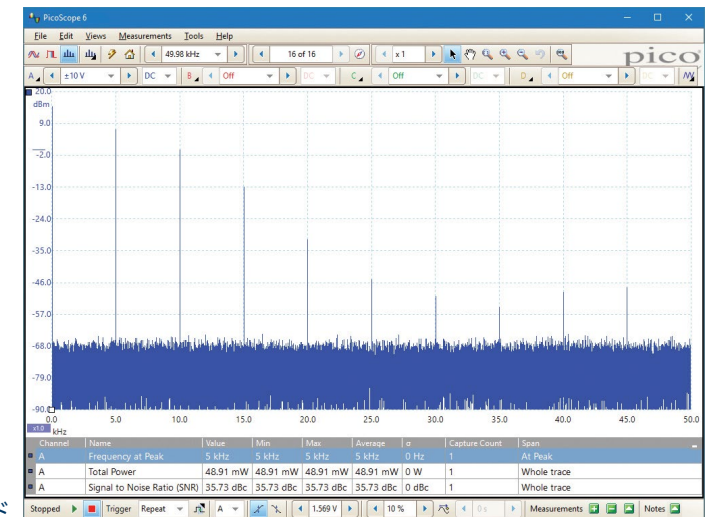
自動測定

PicoScopeでは、算出された測定値の表を自動で表示して、トラブルシューティングや解析を行うことができます。内蔵の測定統計を使うと、各測定値の平均、標準偏差、最大値、最小値、および現在の値を表示することができます。

各ビューには、測定を必要な数だけ追加できます。スコープモードでは18、スペクトルモードでは11の異なる測定値を追加することができます。これら測定結果に関する情報は、仕様の表の**自動測定**を参照してください。



スコープモード



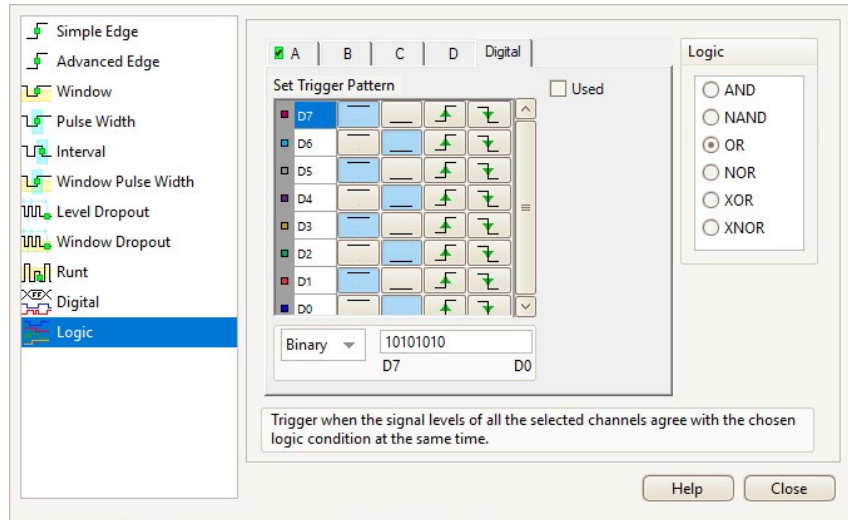
スペクトルモード

デジタルトリガーアーキテクチャ

1991年、Pico Technologyは実際のデジタル化データを使用したデジタルトリガー、および高精度ヒステリシスの使用においてパイオニアとなりました。通常、デジタルオシロスコープには、コンパレータに基づくアナログトリガーアーキテクチャが使用されてきました。この場合、必ずしも修正できるとは限らない時間および振幅エラーが発生する場合があります。加えて、コンパレータを使用することで、高帯域幅におけるトリガー感度に限界が生じ、長いトリガーリアーム遅延が発生する場合があります。

Picoのデジタルトリガーは、トリガーエラーを減らすのみならず、全帯域幅でも最小の信号上でオシロスコープをトリガーすることができます。これにより、高い精度、高い解像度でトリガーレベルやヒステリシスを設定することが可能です。

デジタルトリガーアーキテクチャにより、リアーム遅延も減少させることができます。セグメント化メモリと併用することで、8ビットモードでは10msに10,000波形をキャプチャするラピッドトリガーを使用することができます。

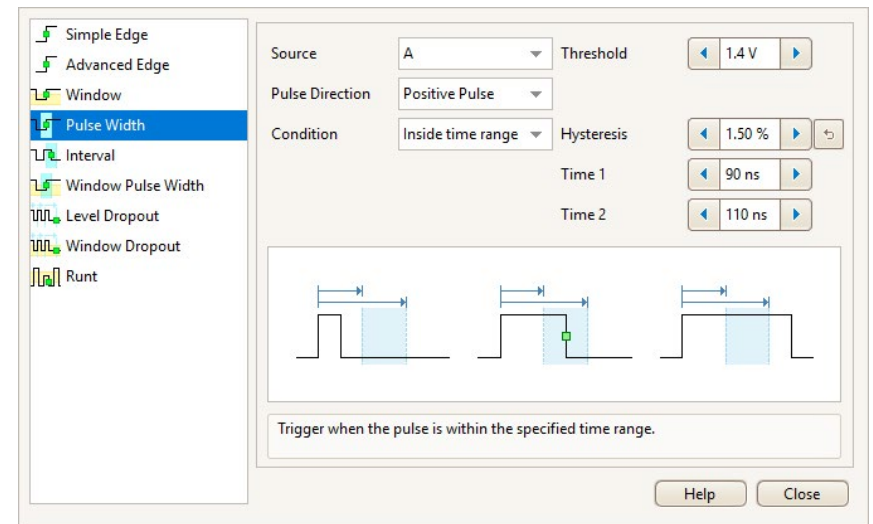


高度なトリガー

PicoScope 2000シリーズは、パルス幅、ウィンドウ化、ドロップアウトなど、業界をリードする高度なトリガーを提供します。

MSOモデルで使用可能なデジタルトリガーにより、16個のデジタル入力のいずれか、またはすべてがユーザー定義したパターンと一致する場合、スコープをトリガーすることができます。各チャンネルごとに別個に条件を指定したり、16進法値または2進法値を使ってすべてのチャンネルに一度にパターンを設定したりすることができます。

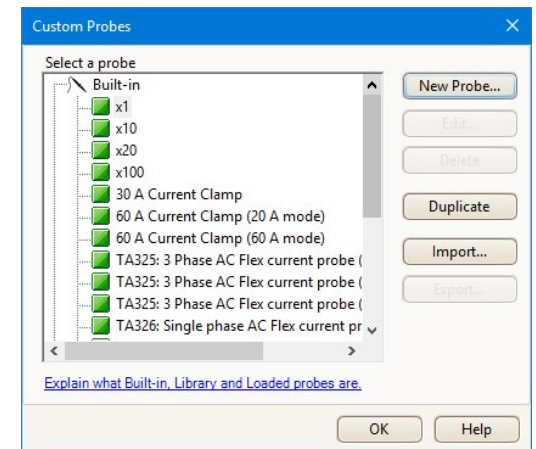
また、ロジックトリガーを使ってデジタルトリガーとエッジを組み合わせたり、アナログ入力上のウィンドウトリガーを使用したりできます。例えば、測定したパラレルバスのデータ値でトリガーする場合などです。



カスタムプローブ

カスタムプローブ機能により、プローブ、トランスジェンサー、その他のセンサーなどのゲイン、減衰、オフセット、非線形性を修正したり、電圧以外（電流、電力、温度など）の値を測定したりすることができます。

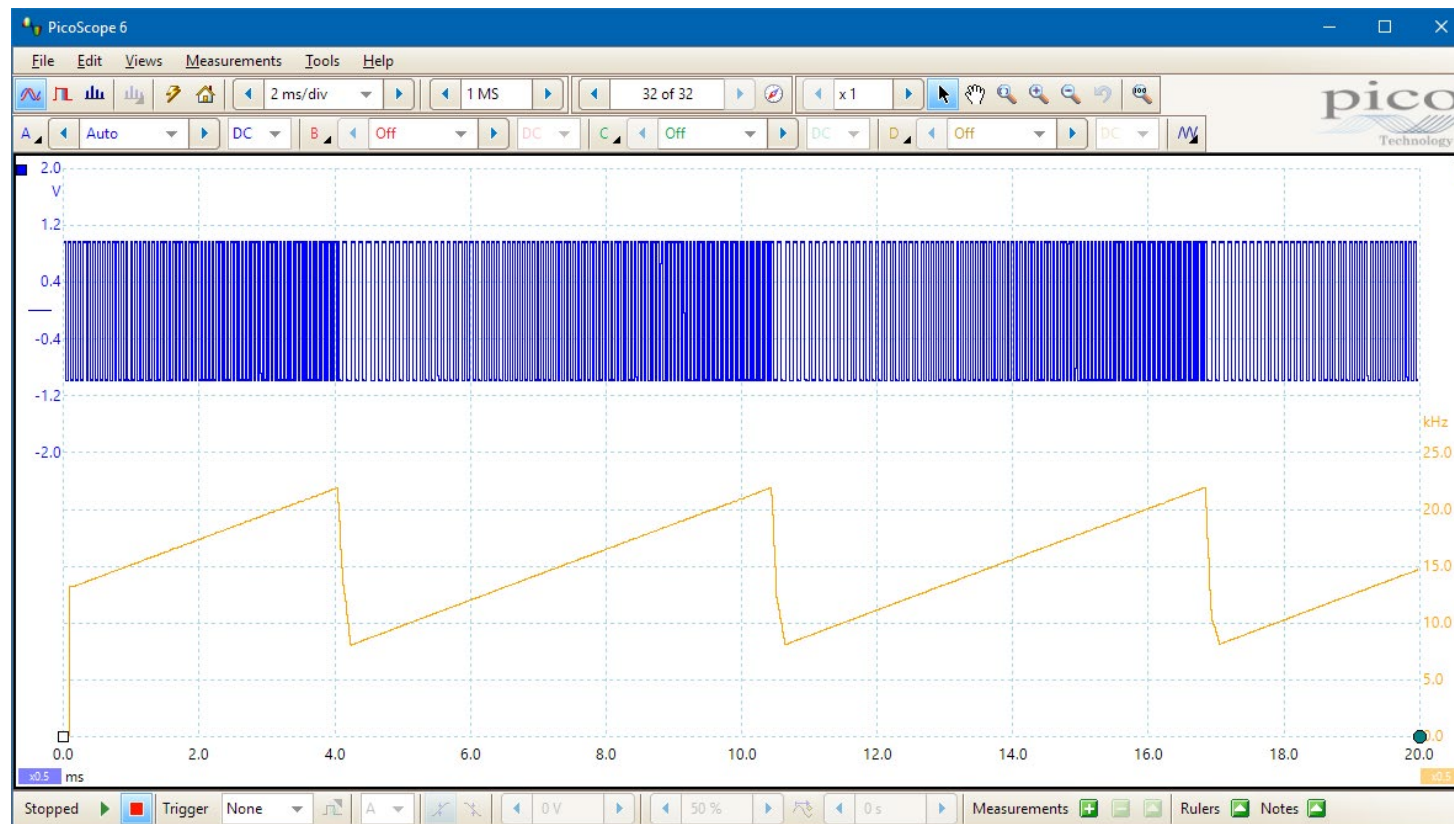
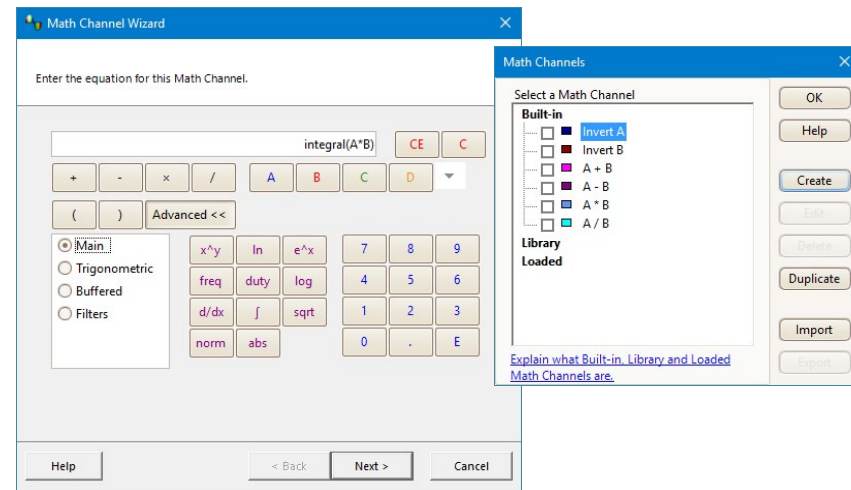
Picoの標準装備プローブは内蔵されていますが、線形スケールリングや補完データ表を使って自分のプローブを作成し、後で使用できるように保存することも可能です。



演算チャンネルおよびフィルター

PicoScope 6では、入力信号や基準波形に対して様々な演算を実行することができます。加算、反転などの簡単な関数を選択するか、または方程式エディターを開いて、フィルター（ローパス、ハイパス、バンドパス、バンドストップフィルター）、三角法、指数関数、対数、統計、積分、導関数に関係するような複雑な関数を作成します。

各スコープビューには、最大8つの実際のチャンネルまたは算出されたチャンネルが表示されます。スペースがなくなったら、別のスコープビューを開いて追加することができます。演算チャンネルを使って、複雑な信号の詳細を表示することも可能です。例えば、一定期間における信号のデューティサイクルや周波数の変化をグラフで表すことができます。



PicoScope 6を使って周波数を対時間でプロットする

すべてのオシロスコープは波形の周波数を測定できますが、その周波数が時の経過と共にどう変化するか知る必要がある場合があります、それを測定するのは非常に難しいことです。**freq**演算機能でこれを行うことができます。この例では、トップ波形の周波数がランプ関数によって変調され、ボトム波形でプロットされています。

別の演算機能により、同様の方法でデューティサイクルをプロットすることができます。

PicoLog® 6サポート

PicoScope 2000シリーズオシロスコープは、PicoLog 6でもサポートされるようになりました。これにより、1度のキャプチャの信号を複数の単位で表示・記録することができます。

PicoLog 6により、チャンネルごとに最大1 KS/sのサンプルレートが可能となるため、複数のチャンネルの電圧、電流レベルなど、一般パラメーターを同時に長時間観察する際に最適です。波形および高調分析には適していません。それらのタスクには、PicoScope 6を使用してください。

PicoLog 6を使うと、オシロスコープからのデータをデータロガーや他のデバイスからのデータと並べて表示することができます。たとえば、PicoScopeで電圧や電流を測定し、[TC-08熱電対データロガー](#)を使って対温度で両方をプロットしたり、[DrDAQ多目的データロガー](#)を使って対湿度でプロットしたりすることができます。

PicoLog 6は、Windows、macOS、Linux、Raspbianで使用することができます。

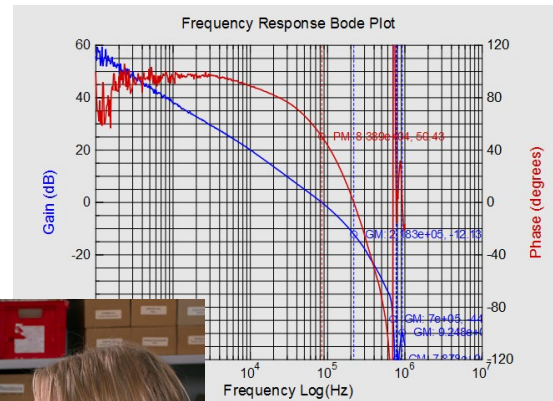


PicoSDK® - 自分のアプリを作成

当社のソフトウェア開発キットであるPicoSDKを使えば、自分のソフトウェアを作成することができます。Windows、macOS、Linux用のドライバが含まれています。当社のGitHub組織ページで提供されるコード例は、National Instruments LabVIEWやMathWorks MATLABなどのサードパーティ社製ソフトウェアパッケージとインターフェースで接続する方法を示しています。

特にドライバは、USBを通じてギャップフリーの連続データを最大125 MS/sの速度で直接PCに取り込むモードであるデータストリーミングをサポートしているため、スコープのキャプチャメモリのサイズに制限されることはありません。ストリーミングモードのサンプリングレートは、PCの仕様およびアプリケーションの読み込みによって異なります。

また、当社の[試験&測定フォーラム](#)やウェブサイトの[PicoApps](#)セクションでは、PicoScope 6ユーザーがコードやアプリケーションを共有しています。ここに示されている周波数応答アナライザーは、これらアプリケーションの中でも人気の高いものです。



キットの同梱物およびアクセサリ

PicoScope 2000シリーズオシロスコープキットには、以下の同梱物が含まれています：

- USB 2.0 (USB 3.0/3.1対応) ケーブル
- x1/x10受動プローブ2または4個 (プローブなしと記載のキットを除く)
- デジタル入力ケーブル (MSOモデルのみ)
- ロジック試験クリップ20個 (MSOモデルのみ)
- クイックスタートガイド



プローブ、ケーブル、クリップ

PicoScope 2000シリーズオシロスコープキットには、オシロスコープの性能に適合するよう特別に調整されたプローブが同梱されています。

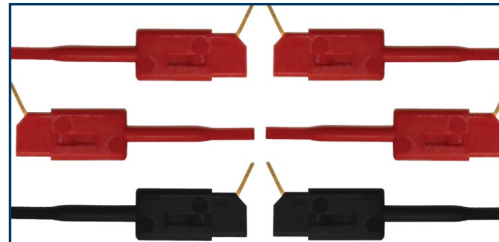
MSOモデルには、MSOケーブル、試験クリップ20個も同梱されます。



オシロスコープのプローブ



20方向25 cmデジタルMSOケーブル



MSO試験クリップ



クイック製品セクター

2チャンネルオシロスコープ

モデル	PicoScope 2204A	PicoScope 2205A
帯域幅	10 MHz	25 MHz
最高サンプルレート	100 MS/s	200 MS/s
バッファメモリ	8 kS	16 kS
AWG 帯域幅	100 kHz	100 kHz

4チャンネルオシロスコープ

モデル	PicoScope 2405A
帯域幅	25 MHz
最高サンプルレート	500 MS/s
バッファメモリ	48 kS
AWG 帯域幅	1 MHz

混合信号オシロスコープ

アナログ入力2 + デジタル入力
16

モデル	PicoScope 2205A MSO
帯域幅	25 MHz
最高サンプルレート	500 MS/s
バッファメモリ	48 kS
AWG 帯域幅	1 MHz

USB電源供給型の低コストオシロスコープで、波形を表示します。

自動測定、シリアルデコード、シリアルデコード、持続ディスプレイ、マスキリミット試験、スペクトル分析、任意波形ジェネレーターなどのPicoScopeの標準機能すべてが含まれます。

USB電源供給型の高性能オシロスコープで、波形を分析します。

ディープメモリ機能により、高サンプルレートで長時間測定することができます。再測定することなくデータ上にズームすることができます。これは、詳細なタイミング解像度で一度限りのイベントを解析する場合に必要な不可欠な機能です。

任意波形ジェネレーターでは、大きなメモリバッファに複雑な波形を保存できるので、現実的な入力での設計の試験を行うことが可能です。

PicoScope 2206B	PicoScope 2207B	PicoScope 2208B
50 MHz	70 MHz	100 MHz
500 MS/s	1 GS/s	1 GS/s
32 MS	64 MS	128 MS
1 MHz	1 MHz	1 MHz

PicoScope 2406B	PicoScope 2407B	PicoScope 2408B
50 MHz	70 MHz	100 MHz
1 GS/s	1 GS/s	1 GS/s
32 MS	64 MS	128 MS
1 MHz	1 MHz	1 MHz

PicoScope 2206B MSO	PicoScope 2207B MSO	PicoScope 2208B MSO
50 MHz	70 MHz	100 MHz
1 GS/s	1 GS/s	1 GS/s
32 MS	64 MS	128 MS
1 MHz	1 MHz	1 MHz

PicoScope 2000シリーズ仕様 - 2チャンネルオシロスコープ

	PicoScope 2204A	PicoScope 2205A	PicoScope 2206B	PicoScope 2207B	PicoScope 2208B
垂直					
帯域幅 (-3 dB)	10 MHz	25 MHz	50 MHz	70 MHz	100 MHz
立ち上がり時間 (計算)	35 ns	14 ns	7 ns	5 ns	3.5 ns
ソフトウェアローパスフィルター	該当なし		構成可能なソフトウェアローパスフィルター		
垂直解像度	8 ビット		8 ビット		
拡張垂直解像度	最大12ビット		最大12ビット		
入力範囲	±50 mV、±100 mV、±200 mV、±500 mV、 ±1 V、±2 V、±5 V、±10 V、±20 V		±20 mV、±50 mV、±100 mV、±200 mV、±500 mV、 ±1 V、±2 V、±5 V、±10 V、±20 V		
入力感度	10 mV/div~4 V/div (垂直分割10)		4 mV/div~4 V/div (垂直分割10)		
入力カップリング	AC / DC		AC / DC		
入力コネクタ	シングルエンド、BNC(f)		シングルエンド、BNC(f)		
入力特性	1 MΩ ± 1% 15 pF ± 2 pF		1 MΩ ± 1% 16 pF ± 1 pF		
アナログオフセット 範囲 (垂直位置調整)	なし		±250 mV (範囲20 mV~200 mV) ±2.5 V (範囲500 mV~2 V) ±25 V (範囲5 V~20 V)		
アナログオフセットコントロール精度	該当なし		オフセット設定の±1%、基本DC精度に追加		
DC精度	フルスケールの±3%、±200 μV		フルスケールの±3%、±200 μV		
過電圧保護	±100 V (DC + AC ピーク) 最大10 kHz		±100 V (DC + AC ピーク) 最大10 kHz		
水平(タイムベース)					
最高サンプルレート (リアルタイム)	1 ch. 2 ch.	100 MS/s 50 MS/s	200 MS/s (Ch.A) 100 MS/s	500 MS/s 250 MS/s	1 GS/s 500 MS/s
等価時間サンプルレート (ETS)		2 GS/s	4 GS/s	5 GS/s	10 GS/s
最大サンプリングレート (USBストリーミング)		1 MS/s		9.6 MS/s (PicoSDK使用で31 MS/s)	
最短タイムベース		10 ns/div	5 ns/div	2 ns/div	1 ns/div
最長タイムベース		5000 s/div		5000 s/div	
バッファメモリ(ブロックモード、アクティブチャンネル間で共有)		8 kS	16 kS	32 MS	64 MS 128 MS
バッファメモリ (USBストリーミングモード、PicoScope 6)		100 MS (アクティブチャンネル間で共有)		100 MS (アクティブチャンネル間で共有)	
バッファメモリ (USBストリーミングモード、PicoSDK)		最大でPCのメモリを利用可能		最大でPCのメモリを利用可能	
波形バッファ (PicoScope 6)		10 000		10 000	
1秒ごとの最大波形		2000		80 000	

PicoScope 2000シリーズ仕様 - 2チャンネルオシロスコープ					
	PicoScope 2204A	PicoScope 2205A	PicoScope 2206B	PicoScope 2207B	PicoScope 2208B
初期タイムベース精度	±100 ppm		±50 ppm		
タイムベースドリフト	±5 ppm/年		±5 ppm/年		
サンプルジッタ	30 ps RMS (代表値)		20 ps RMS (代表値)	3 ps RMS (代表値)	
ADCサンプリング	すべての有効チャンネルで同時サンプリング		すべての有効チャンネルで同時サンプリング		
動的性能 (代表値)					
クロストーク (フル帯域幅、等しい範囲)	200:1以上		300:1以上		
高調波ひずみ	100 kHzで< -50 dB、フルスケール入力、代表値		100 kHzで< -50 dB、フルスケール入力、代表値		
SFDR (100 kHz、フルスケール入力、代表値)	> 52 dB		範囲±20 mV: > 44 dB 範囲±50 mV以上: > 52 dB		
ノイズ	< 150 µV RMS (範囲±50 mV)		< 220 µV RMS (範囲±20 mV)	< 300 µV RMS (範囲±20 mV)	
帯域幅フラットネス	(+0.3 dB、-3 dB) DC~全帯域幅		(+0.3 dB、-3 dB) DC~全帯域幅		
トリガー					
ソース	Ch A、Ch B		Ch A、Ch B		
トリガーモード	なし、自動、リピート、シングル		なし、自動、リピート、シングル、ラピッド (セグメント化メモリ)		
高度なトリガー	エッジ、ウィンドウ、パルス幅、ウィンドウパルス幅、ドロップアウト、ウィンドウ損失、間隔、ロジック		エッジ、ウィンドウ、パルス幅、ウィンドウパルス幅、ドロップアウト、ウィンドウ損失、間隔、ラントパルス、ロジック		
トリガーの種類、ETS	立ち上がり、または立ち下がりエッジ		立ち上がり、または立ち下がりエッジ (Ch Aでのみ使用可能)		
セグメント化メモリバッファ (PicoSDK)	該当なし		128 000	256 000	500 000
セグメント化メモリバッファ (PicoScopeソフトウェア)	該当なし		10 000		
トリガー感度、リアルタイム	デジタルトリガーで、1 LSBの精度 (最大全帯域幅)		デジタルトリガーで、1 LSBの精度 (最大全帯域幅)		
トリガー感度、ETS	10 mV p-p、代表値、全帯域幅		10 mV p-p、代表値、全帯域幅		
最大プリトリガーキャプチャ	キャプチャサイズの100%		キャプチャサイズの100%		
最大ポストトリガー遅延	40億サンプル		40億サンプル		
トリガーリアーム時間	PCによって異なる		サンプルレート500 MS/sで < 2 µs	サンプルレート1 GS/sで< 1 µs	
最大トリガーレート	PCによって異なる		12 msバーストで波形 10 000、サンプルレート 500MS/s、代表値	6 msバーストで波形10 000、サンプルレート1 GS/s、代表値	

PicoScope 2000シリーズ仕様 - 4チャンネルオシロスコープ

	PicoScope 2405A	PicoScope 2406B	PicoScope 2407B	PicoScope 2408B
垂直				
帯域幅 (-3 dB)	25 MHz	50 MHz	70 MHz	100 MHz
立ち上がり時間 (計算)	14 ns	7 ns	5 ns	3.5 ns
ソフトウェアローパスフィルター	該当なし	構成可能なローパスフィルター		
垂直解像度	8 ビット	8 ビット		
拡張垂直解像度	最大12ビット	最大12ビット		
入力範囲	±20 mV、±50 mV、±100 mV、±200 mV、±500 mV、 ±1 V、±2 V、±5 V、±10 V、±20 V	±20 mV、±50 mV、±100 mV、±200 mV、±500 mV、 ±1 V、±2 V、±5 V、±10 V、±20 V		
入力感度	4 mV/div~4 V/div (垂直分割10)	4 mV/div~4 V/div (垂直分割10)		
入力カップリング	AC / DC	AC / DC		
入力特性	1 MΩ ± 1% 16 pF ± 1 pF	1 MΩ ± 1% 16 pF ± 1 pF		
入力コネクタ	シングルエンド、BNC(f)	シングルエンド、BNC(f)		
アナログオフセット範囲 (垂直位置調整)	±250 mV (範囲20 mV~200 mV) ±2.5 V (範囲500 mV~2 V) ±25 V (範囲5 V~20 V)	±250 mV (範囲20 mV~200 mV) ±2.5 V (範囲500 mV~2 V) ±25 V (範囲5 V~20 V)		
アナログオフセットコントロール精度	オフセット設定の±1%、基本DC精度に追加	オフセット設定の±1%、基本DC精度に追加		
DC精度	フルスケールの±3%、±200 μV	フルスケールの±3%、±200 μV		
過電圧保護	±100 V (DC + AC ピーク) 最大10 kHz	±100 V (DC + AC ピーク) 最大10 kHz		
水平 (タイムベース)				
最高サンプルレート (リアルタイム) 1 ch. 2 ch. 3または4 ch.	500 MS/s 250 MS/s 125 MS/s	1 GS/s 500 MS/s 250 MS/s		
等価時間サンプルレート (ETS)	5 GS/s	10 GS/s		
最大サンプリングレート (USBストリーミング)	8.9 MS/s (PicoSDK使用で31 MS/s)	9.6 MS/s (PicoSDK使用で31 MS/s)		
最短タイムベース	2 ns/div	2 ns/div	1 ns/div	
最長タイムベース	5000 s/div	5000 s/div		
バッファメモリ (ブロックモード、アクティブチャンネル間で共有)	48 kS	32 MS	64 MS	128 MS
バッファメモリ (USBストリーミングモード、 PicoScope 6)	100 MS (アクティブチャンネル間で共有)	100 MS (アクティブチャンネル間で共有)		

PicoScope 2000シリーズ仕様 - 4チャンネルオシロスコープ

	PicoScope 2405A	PicoScope 2406B	PicoScope 2407B	PicoScope 2408B
バッファメモリ (USBストリーミングモード、PicoSDK)	最大でPCのメモリを利用可能	最大でPCのメモリを利用可能		
波形バッファ (PicoScope 6)	10 000	10 000		
1秒ごとの最大波形	2000	80 000		
初期タイムベース精度	±50 ppm	±50 ppm		
タイムベースドリフト	±5 ppm/年	±5 ppm/年		
サンプルジッタ	20 ps RMS (代表値)	3 ps RMS (代表値)		
ADCサンプリング	すべての有効チャンネルで同時サンプリング	すべての有効チャンネルで同時サンプリング		
動的性能 (代表値)				
クロストーク (フル帯域幅、等しい範囲)	300:1以上	300:1以上		
高調波ひずみ	100 kHzで< -50 dB、フルスケール入力、代表値	100 kHzで< -50 dB、フルスケール入力、代表値		
SFDR (100 kHz、フルスケール入力、代表値)	範囲±20 mV: > 44 dB 範囲±50 mV以上: > 52 dB	範囲±20 mV: > 44 dB 範囲±50 mV以上: > 52 dB		
ノイズ (範囲±20 mV)	<150 μV RMS	<220 μV RMS	<300 μV RMS	
帯域幅フラットネス	(+0.3 dB、-3 dB) DC~全帯域幅、代表値	(+0.3 dB、-3 dB) DC~全帯域幅、代表値		

PicoScope 2000シリーズ仕様 - 混合信号オシロスコープ

	PicoScope 2205A MSO	PicoScope 2206B MSO	PicoScope 2207B MSO	PicoScope 2208B MSO
垂直(アナログ入力)				
入力チャンネル	2	2		
帯域幅(-3 dB)	25 MHz	50 MHz	70 MHz	100 MHz
立ち上がり時間(計算)	14 ns	7 ns	5 ns	3.5 ns
ソフトウェアローパスフィルター	該当なし	構成可能なソフトウェアローパスフィルター		
垂直解像度	8ビット	8ビット		
拡張垂直解像度	最大12ビット	最大12ビット		
入力範囲	±20 mV、±50 mV、±100 mV、±200 mV、±500 mV、 ±1 V、±2 V、±5 V、±10 V、±20 V	±20 mV、±50 mV、±100 mV、±200 mV、±500 mV、 ±1 V、±2 V、±5 V、±10 V、±20 V		
入力感度	4 mV/div~4 V/div(垂直分割10)	4 mV/div~4 V/div(垂直分割10)		
入力カップリング	AC / DC	AC / DC		
入力コネクタ	シングルエンド、BNC(f)	シングルエンド、BNC(f)		
入力特性	1 MΩ ± 1% 16 pF ± 1 pF	1 MΩ ± 1% 16 pF ± 1 pF		
アナログオフセット範囲 (垂直位置調整)	±250 mV(範囲20 mV~200 mV) ±2.5 V(範囲500 mV~2 V) ±25 V(範囲5 V~20 V)	±250 mV(範囲20 mV~200 mV) ±2.5 V(範囲500 mV~2 V) ±25 V(範囲5 V~20 V)		
アナログオフセットコントロール精度	オフセット設定の±1%、基本DC精度に追加	オフセット設定の±1%、基本DC精度に追加		
DC精度	フルスケールの±3%、±200 μV	フルスケールの±3%、±200 μV		
過電圧保護	±100 V(DC + AC ピーク) 最大10 kHz	±100 V(DC + AC ピーク) 最大10 kHz		
垂直(デジタル入力)				
入力チャンネル	16(8ビットポート2個)	16(8ビットポート2個)		
入力コネクタ	ピッチ2.54 mm、10 x 2 方向コネクタ	ピッチ2.54 mm、10 x 2 方向コネクタ		
最大入力周波数	100 MHz(200 Mb/s)	100 MHz(200 Mb/s)		
検出可能最小パルス幅	5 ns	5 ns		
入力インピーダンス	200 kΩ ± 2% 8 pF ± 2 pF	200 kΩ ± 2% 8 pF ± 2 pF		
入力ダイナミックレンジ	±20 V	±20 V		
しきい値の範囲	±5 V	±5 V		
しきい値のグルーピング	別個のしきい値コントロール2個。ポート0:D0~D7、 ポート1:D8~D15	別個のしきい値コントロール2個。 ポート0:D0~D7、ポート1:D8~D15		
しきい値選択	TTL、CMOS、ECL、PECL、ユーザー定義	TTL、CMOS、ECL、PECL、ユーザー定義		
ポートしきい値精度	±350 mV(ヒステリシスを含む)	±350 mV(ヒステリシスを含む)		
ヒステリシス	< ±250 mV	< ±250 mV		
最小入力電圧振幅	500 mV pk-pk	500 mV pk-pk		
チャンネル間スキュー	2 ns(代表値)	2 ns(代表値)		

PicoScope 2000シリーズ仕様 - 混合信号オシロスコープ

	PicoScope 2205A MSO	PicoScope 2206B MSO	PicoScope 2207B MSO	PicoScope 2208B MSO
最小入力 スルーレート	10 V/ μ s		10 V/ μ s	
過電圧保護	\pm 50 V		\pm 50 V	
水平(タイムベース)				
最高サンプルレート アナログch. 1 (リアルタイム) デジタルポート1 2チャンネル/ポート その他	500 MS/s 500 MS/s 250 MS/s 250 MS/s		1 GS/s 500 MS/s 500 MS/s 250 MS/s	
等価時間サンプルレート(ETS)	5 GS/s		10 GS/s	
最大サンプリングレート (USBストリーミング)	8.9 MS/s (PicoSDK使用で31 MS/s)		9.6 MS/s (PicoSDK使用で31 MS/s)	
最短タイムベース	2 ns/div	2 ns/div		1 ns/div
最長タイムベース	5000 s/div		5000 s/div	
バッファメモリ(ブロックモード、アクティブチャンネル間で共有)	48 kS	32 MS	64 MS	128 MS
バッファメモリ (USBストリーミングモード、PicoScope 6)	100 MS (アクティブチャンネル間で共有)		100 MS (アクティブチャンネル間で共有)	
バッファメモリ (USBストリーミングモード、PicoSDK)	最大でPCのメモリを利用可能		最大でPCのメモリを利用可能	
波形バッファ (PicoScope 6)	10 000		10 000	
1秒ごとの最大波形	2000		80 000	
初期タイムベース精度	\pm 50 ppm		\pm 50 ppm	
タイムベースドリフト	\pm 5 ppm/年		\pm 5 ppm/年	
サンプルジッタ	20 ps RMS (代表値)		3 ps RMS (代表値)	
ADCサンプリング	すべての有効チャンネルで同時サンプリング		すべての有効チャンネルで同時サンプリング	
動的性能(代表値)				
クロストーク (フル帯域幅、等しい範囲)	300:1以上		300:1以上	
高調波ひずみ	100 kHzで< -50 dB、フルスケール入力、代表値		100 kHzで< -50 dB、フルスケール入力、代表値	
SFDR (100 kHz、フルスケール入力、代表値)	範囲 \pm 20 mV: > 44 dB 範囲 \pm 50 mV以上: > 52 dB		範囲 \pm 20 mV: > 44 dB 範囲 \pm 50 mV以上: > 52 dB	
ノイズ(範囲 \pm 20 mV)	<150 μ V RMS	<220 μ V RMS		<300 μ V RMS
帯域幅フラットネス	(+0.3 dB、-3 dB) DC~全帯域幅、代表値		(+0.3 dB、-3 dB) DC~全帯域幅、代表値	

PicoScope 2000シリーズ仕様 - 混合信号オシロスコープ

	PicoScope 2205A MSO	PicoScope 2206B MSO	PicoScope 2207B MSO	PicoScope 2208B MSO
トリガー				
ソース	Ch A、Ch B、デジタル0~15		Ch A、Ch B、デジタル0~15	
トリガーモード	なし、自動、リピート、シングル、ラピッド(セグメント化メモリ)		なし、自動、リピート、シングル、ラピッド(セグメント化メモリ)	
高度なトリガー (アナログ入力)	エッジ、ウィンドウ、パルス幅、ウィンドウパルス幅、ドロップアウト、ウィンドウ損失、間隔、ラントパルス、ロジック		エッジ、ウィンドウ、パルス幅、ウィンドウパルス幅、ドロップアウト、ウィンドウ損失、間隔、ラントパルス、ロジック	
高度なトリガー (デジタル入力)	エッジ、パルス幅、ドロップアウト、間隔、ロジック、パターン、混合信号		エッジ、パルス幅、ドロップアウト、間隔、ロジック、パターン、混合信号	
トリガーの種類、ETS	立ち上がり、または立ち下がりエッジ (Ch Aでのみ使用可能)		立ち上がり、または立ち下がりエッジ (Ch Aでのみ使用可能)	
セグメント化メモリバッファ (PicoSDK)	96	128 000	256 000	500 000
セグメント化メモリバッファ (PicoScope 6)	96	10 000		
トリガー感度、リアルタイム (アナログチャンネル)	デジタルトリガーで、1 LSBの精度 (最大全帯域幅)		デジタルトリガーで、1 LSBの精度 (最大全帯域幅)	
トリガー感度、ETS (アナログチャンネル)	10 mV p-p、代表値、全帯域幅		10 mV p-p、代表値、全帯域幅	
最大プリトリガーキャプチャ	キャプチャサイズの100%		キャプチャサイズの100%	
最大ポストトリガー遅延	40億サンプル		40億サンプル	
トリガーリアーム時間	サンプルレート500 MS/sで< 2 μs		サンプルレート1 GS/sで< 1 μs	
最大トリガーレート	192 μsバーストで96波形、サンプルレート500 MS/s、代表値		6 msバーストで波形10 000、サンプルレート1 GS/s、代表値	

PicoScope 2000シリーズ仕様 - 信号ジェネレーター			
	PicoScope 2204A & 2205A	PicoScope 2405A & 2205A MSO	Bモデルすべて
ファンクションジェネレーター			
標準出力信号	正弦波、矩形波、三角波、DC電圧、ランプ、シンク、ガウス、正弦半波	正弦波、矩形波、三角波、DC電圧、ランプ、シンク、ガウス、正弦半波	
疑似出力信号	なし	ホワイトノイズ、PRBS	
標準信号周波数	DC~100 kHz	DC~1 MHz	
掃引モード	アップ、ダウン、デュアル (選択可能な開始/停止周波数および増分)	アップ、ダウン、デュアル (選択可能な開始/停止周波数および増分)	
トリガー	なし	フリー実行、または最大10億波形サイクル、または周波数掃引掃引トリガーから、または手動でトリガー。	
出力周波数精度	オシロスコープのタイムベース精度 ± 出力周波数解像度	オシロスコープのタイムベース精度 ± 出力周波数解像度	
出力周波数解像度	< 0.02 Hz	< 0.01 Hz	
出力電圧範囲	±2 V	±2 V	
出力調整	振幅およびオフセット (範囲±2 V以内)	振幅およびオフセット (範囲±2 V以内)	
振幅フラットネス (代表値)	< 1 dB~100 kHz	< 0.5 dB~1 MHz	
DC精度	フルスケールの±1%	フルスケールの±1%	
SFDR (代表値)	1 kHzのフルスケール正弦波で> 55 dB	10 kHzのフルスケール正弦波で> 60 dB	
出力特性	前面パネルBNC、出力インピーダンス600 Ω	前面パネルBNC、出力インピーダンス600 Ω	
過電圧保護	±20 V	±20 V	
任意波形ジェネレーター			
更新レート	1.548 MHz	20 MHz	
バッファサイズ	4 kS	8 kS	32 kS
解像度	12 ビット	12 ビット	
帯域幅	> 100 kHz	> 1 MHz	
立ち上がり時間 (10%~90%)	< 2 μs	< 120 ns	

PicoScope 2000シリーズ仕様 - 一般機能

スペクトラムアナライザ

周波数範囲	DC～オシロスコープのアナログ帯域幅
ディスプレイモード	振幅、平均、ピークホールド
窓関数	長方形、ガウス、三角、ブラックマン、ブラックマン・ハリス、ハミング、ハン、フラットトップ
FFTポイントの数	2つの電源で、128から使用可能バッファメモリの半分まで選択可能

演算チャンネル

関数	$-x$ 、 $x+y$ 、 $x-y$ 、 $x*y$ 、 x/y 、 x^y 、 \sqrt{x} 、 \exp 、 \ln 、 \log 、 abs 、 norm 、 sign 、 \sin 、 \cos 、 \tan 、 \arcsin 、 \arccos 、 \arctan 、 \sinh 、 \cosh 、 \tanh 、 freq 、 derivative 、 integral 、 min 、 max 、 average 、 peak 、 delay 、 duty 、 highpass 、 lowpass 、 bandpass 、 bandstop
オペランド	A、B (入力チャンネル)、C、D (入力チャンネル、4チャンネルモデルのみ)、 T (時間)、参照波形、定数、円周率、デジタルチャンネル (MSOモデルのみ)

自動測定

スコープモード	AC RMS、サイクルタイム、DC平均、デューティサイクル、エッジカウント、立下がりエッジカウント、立下がりレート、立下がり時間、周波数、高パルス幅、低パルス幅、最大、最小、ピークツーピーク、立上り時間、立上りエッジカウント、立上りレート、非反転RMS
スペクトルモード	ピーク時の周波数、ピーク時の振幅、THD dB、SNR、SINAD、SFDR電力合計、ピーク時の平均振幅、THD %、THD+N、IMD
統計	最小、最大、平均、標準偏差

シリアルデコード

プロトコル	1-Wire、ARINC 429、CAN、CAN-FD、DALI、DCC、DMX512、FlexRay、Ethernet 10Base-T、I ² C、I ² S、LIN、Manchester、Modbus ASCII、Modbus RTU、PS/2、SENT、SPI、UART/RS-232、USB 1.1 (選択したオシロスコープモデルの帯域幅およびサンプルレートによって異なります)
-------	--

マスキリミット試験

統計	合格/失敗、失敗カウント、合計カウント
----	---------------------

ディスプレイ

補間	線形または $\sin(x)/x$
持続モード	デジタルカラー、アナログ強度、カスタム、高速、なし

一般事項

PC接続性	USB 2.0 (USB 3.0との互換性あり) USBケーブル同梱。
電力要件	USBポートから電源供給
寸法 (コネクタおよび脚を含む)	142 x 92 x 18.8 mm (PicoScope 2204Aおよび2205Aのみ) 130 x 104 x 18.8 mm (その他のすべてのモデル、PicoScope 2205A MSOを含む)
重量	< 0.2 kg (7 oz)
温度範囲 (動作時)	0°C～50°C
温度範囲 (動作時、規定精度を得る場合)	15°C～30°C
温度範囲 (保管時)	-20°C～+60°C
湿度範囲 (動作時)	5%～80% RH (結露なきこと)
湿度範囲 (保管時)	5%～95% RH (結露なきこと)
高度範囲	最高 2000 m
汚染度	2

PicoScope 2000シリーズ仕様 - 一般機能	
安全性認可	EN 61010-1:2010準拠の設計
環境認可	RoHS、WEEE
EMC認可	EN 61326-1:2013およびFCC Part 15 Subpart Bを満たすことが試験済み
保証期間	5年
ソフトウェアご利用方法および要件(osのハードウェア要件)	
Windowsソフトウェア	PicoScope 6、PicoLog 6、PicoSDK サポートされるOSバージョンに関しては PicoScope および PicoLog リリースノートを参照してください
macOSソフトウェア	PicoScope 6ベータ版(ドライバを含む)、PicoLog 6(ドライバを含む) サポートされるOSバージョンに関しては PicoScope および PicoLog リリースノートを参照してください
Linuxソフトウェア	PicoScope 6ベータ版ソフトウェアおよびドライバ、PicoLog 6(ドライバを含む) サポートされる配布に関しては、 PicoScope および PicoLog リリースノートを参照してください ドライバのみをインストールする場合は、 Linuxソフトウェア および ドライバ を参照してください
Raspberry Pi 3Bおよび4B (Raspbian)	PicoLog 6(ドライバを含む) サポートされるOSバージョンに関しては、 PicoLog リリースノートを参照してください ドライバのみをインストールする場合は、 Linuxソフトウェア および ドライバ を参照してください
サポートされる言語、PicoScope 6	中国語(簡体字)、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、イタリア語、日本語、韓国語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、スペイン語、スウェーデン語、トルコ語
サポートされる言語、PicoLog 6	中国語(簡体字)、英語(英国)、英語(米国)、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ロシア語、スペイン語

Pico Technology組織ページ ([GitHub](#)) では、アプリを作成するユーザー向けにすべてのプラットフォームのプログラム例が提供されています。

注文情報

オシロスコープ

モデル名	説明
PicoScope 2204A-D2	10 MHz 2チャンネルオシロスコープ(プローブなし)
PicoScope 2204A	10 MHz 2チャンネルオシロスコープ
PicoScope 2205A-D2	25 MHz 2チャンネルオシロスコープ(プローブなし)
PicoScope 2205A	25 MHz 2チャンネルオシロスコープ
PicoScope 2206B	50 MHz 2チャンネルオシロスコープ
PicoScope 2207B	70 MHz 2チャンネルオシロスコープ
PicoScope 2208B	100 MHz 2チャンネルオシロスコープ
PicoScope 2405A	25 MHz 4チャンネルオシロスコープ
PicoScope 2406B	50 MHz 4チャンネルオシロスコープ
PicoScope 2407B	70 MHz 4チャンネルオシロスコープ
PicoScope 2408B	100 MHz 4チャンネルオシロスコープ
PicoScope 2205A MSO	25 MHz 2+16 チャンネル混合信号オシロスコープ
PicoScope 2206B MSO	50 MHz 2+16 チャンネル混合信号オシロスコープ
PicoScope 2207B MSO	70 MHz 2+16 チャンネル混合信号オシロスコープ
PicoScope 2208B MSO	100 MHz 2+16 チャンネル混合信号オシロスコープ

交換用アクセサリ

モデル名	説明
TA375受動プローブ	100 MHz 1:1/10:1受動オシロスコーププローブ
TA136ロジックケーブル	20方向25 cmデジタルケーブル(MSO専用)
TA139試験クリップ	ロジック試験クリップ10個のパック(MSO専用)

キャリブレーションサービス

モデル名	説明
校正証明書CC017	PicoScope 2000シリーズオシロスコープの校正証明書

Pico Technologyの製品をもっと見る...



PicoScope 3000シリーズ

汎用性の高い一般用2チャンネル、4チャンネルオシロスコープ、MSOで、アナログおよびデジタルの幅広い用途に最適です。

すべてのモデルは、サンプルレート1 GS/s、USB 3.0接続、DeepMeasure™ツールへのアクセスなどを装備しています。

最大帯域幅は200 MHz、キャプチャメモリは512 MSです。



PicoScope 4000 シリーズ

様々なアナログ用途向けの高解像度オシロスコープです。

2チャンネル、4チャンネル、IEPEインターフェース、16ビット解像度で2チャンネル、超低電圧または電源CAT III用途向けの4つの非反転差動チャンネル、12ビットの8チャンネルなどのモデルからお選びいただけます。



DrDAQ

ライト、サウンド、温度用の内蔵センサー、pHおよび酸化還元入力、スコープ入力(最大サンプルレート1 MS/s)、センサーソケット3個、デジタルI/O接続4つ、ファンクションジェネレーター。

この柔軟性の高いデータロガーは、PicoLog 6およびPicoScope 6ソフトウェアで動作し、趣味や教育などの様々な用途に最適です。



TC-08

8チャンネル温度データロガー
-270 °C~+1820 °Cまでの温度を記録可能な人気の熱電対

20ビットの解像度で1秒ごとに最大10の測定が可能。電圧および電流測定用のターミナルボード(オプション)。

英国グローバル本社:

Pico Technology
James House
Colmworth Business Park
St. Neots
Cambridgeshire
PE19 8YP
英国

☎ +44 (0) 1480 396 395
✉ sales@picotech.com

北米支社:

Pico Technology
320 N Glenwood Blvd
Tyler
Texas 75702
米国

☎ +1 800 591 2796
✉ sales@picotech.com

アジア太平洋地域管轄支社:

Pico Technology
Room 2252, 22/F, Centro
568 Hengfeng Road
Zhabei District
Shanghai 200070
中国

☎ +86 21 2226-5152
✉ pico.china@picotech.com

誤字脱字があれば訂正いたします。Pico Technology、PicoScope、PicoSDKおよびFlexResは、Pico Technology Ltd.の国際登録商標です。

LabVIEWは、National Instruments Corporationの商標です。Linuxは、米国およびその他の国におけるLinus Torvaldsの登録商標です。macOSは、米国およびその他の国におけるApple Inc.の商標です。MATLABは、The MathWorks, Inc.の登録商標です。Windows およびExcelは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

MM071.ja-5.著作権 © 2016-2020 Pico Technology Ltd. 無断複写・複製・転載禁止。

www.picotech.com



Pico Technology



@LifeAtPico



@picotechnologyltd



Pico Technology



@picotech